

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度第3回本庄市総合教育会議		
開催日時	令和2年2月17日(月)	午前・午後 午前・午後	1時30分から 2時50分まで
開催場所	本庄市役所504会議室		
出席者	<p>構成員：吉田市長、勝山教育長、富沢教育長職務代理者、落合委員、岡崎委員、今井委員</p> <p>教育委員会事務局：高橋教育委員会事務局長、笠原教育総務課長、黒崎学校教育課長、野口教育総務課長補佐</p> <p>事務局：山下部企画財政部長、前川企画課長、田島オリンピック・パラリンピック支援室長、新井企画課長補佐、石橋主事</p>		
議題 (次第)	<p>1 開 会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 教育長挨拶</p> <p>4 議 題 「東京2020オリンピック・パラリンピック大会 に向けた本庄市の取組」(意見交換)</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉 会</p>		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・資料1：東京2020オリンピック・パラリンピック大会 に向けた本庄市の取組</li> <li>・参考資料1：本庄市総合教育会議運営要綱</li> <li>・広報ほんじょう2月号</li> </ul>		
その他特記事項	なし		
主管課	企画課		

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>皆さんこんにちは。本日はお忙しいところ、令和元年度第3回本庄市総合教育会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、企画財政部企画課長の前川と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、これより会議を始めさせていただきます。</p> <p>なお、本日は傍聴の希望者はありません。</p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。開会にあたりまして、吉田市長よりごあいさつをお願いします。</p>
市長	<p>皆さんこんにちは。世間では、新型コロナウイルスという厄介なものが流行ってきています。感染経路が不明な人も発症する事例が増えてきており、非常に不安を感じているところと思います。検査態勢としても、インフルエンザのように簡単なキットをつくるには時間がかかりますし、ワクチンもできていません。今後、感染が広がってきた場合どうするのか、大きな課題を突き付けられていると感じます。</p> <p>先日、救急医療対策協議会が保健所で開かれました。保健所長と話をしましたが、基礎自治体としては、今地元で何が起きているのか、情報の把握をしっかりとしないといけません。ウイルス自体がどういったものか見えていない状況のため、心配されるところではございますが、既存のインフルエンザ対策と同様なことを行っていくことが大切だと思います。</p> <p>さて、前回の会議では、貧困家庭・外国人に対する教育サポートについて協議していただき、大変有意義な会議となりました。本日は、東京2020オリンピック・パラリンピック大会までの本庄市の取組をお話させていただきます。こちら、新型コロナウイルスの影響で、どうなるのか私自身も危惧しているところがございます。仮に延期されたとしても、中止にはせず、競技ができれば良いと思います。本庄市につきましても、東京オリンピック・パラリンピックに向け、様々な取組を行ってまいりましたので、総合教育会議の皆様にもご理解をいただくことが必要と思っております。</p> <p>併せて、最近の文部行政の話題について、お話させていただきます。子ども1人に対しタブレットを1台ということについて、昨年末から国が乗り気の状態です。財政負担等については、地方自治体も大変な部分はありますが、5年をかけ子どもに対する教育環境づくりを行っていくことをご報告させていただきます。</p> <p>最後となりますが、富沢先生につきましては、教育委員としての任期がまもなく終了となり、総合教育会議に参加していただくのも今回が最後となります。富沢先生には、これまで大変ご尽力いただき、改めてこの場をお借りしてお礼を申し上げます。参加者の皆様には本日の会議についてお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。</p>

事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。続きまして勝山教育長よりご挨拶をお願いします。</p>
勝山教育長	<p>皆さんこんにちは。市長からもお話がありましたが、新型コロナウイルスが大変心配されています。その影響か、手洗いうがい徹底されているようで、学校におけるインフルエンザの学級閉鎖が今年はほとんどありません。暖冬の影響もあるかもしれませんが、2月に入っても少ない状況となっており、中学校の卒業式まで1ヵ月という時期になってきました。</p> <p>本日は、オリンピック・パラリンピック大会に向けた取組が議題となっています。市内の小中学校については、オリパラ教育実施校ということで、大会本部より認証を受けています。オリパラ教育を、それぞれの学校の実態に応じて進めていくことが、来年度から本格的に始まります。本日の会議で、様々なご意見・ご指導をいただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。それではここで、配布資料の確認をさせていただきます。本日の資料といたしまして</p> <p>①本日の次第 ②資料1：東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた本庄市の取組 ③参考資料1：本庄市総合教育会議運営要綱 ④広報ほんじょう2月号</p> <p>以上でございます。不足等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、早速、議題に入らせていただきます。「本庄市総合教育会議運営要綱」第4条第1項の規定により、市長が本会議の議長となることとされております。これからの議事の進行につきましては、吉田市長にお願いしたいと思います。吉田市長よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>要綱に基づき、議事の進行をさせていただきます。会議のスムーズな運営にご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議録でございますが、本庄市総合教育会議運営要綱第7条第2項の規定により、「会議録には、市長及び市長が指名する1人の構成員が署名するものとする」とあります。本日の会議録につきましては、私と勝山教育長が署名するというところでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>それでは、事務局にて作成された会議録につきましては、本日出席の皆様の確認の後に、署名を行うこととします。</p> <p>では、早速議事に入らせていただきます。議題は「東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた本庄市の取組」で</p>

	す。事務局より説明をお願いします。
<b>【議題】東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた本庄市の取組</b>	
事務局 (オリンピック・パラリンピック支援室長)	(資料1に基づき説明)
市長	<p>これまでの経緯等について、お話をさせていただきました。ただ今の説明を受け、ご質問やご意見など頂戴できればと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>では、私から補足として何点かお話させていただきます。</p> <p>そもそも、オリンピック・パラリンピックにおいて、ブラインドサッカーを推していくきっかけとなったのが、ロービジョンフットサルの日本代表チームの合宿でした。合宿チームのキャプテンが、岩田朋之さんという人物なのですが、彼は聖火ランナーに選ばれました。聖火ランナーとなった理由が、チームが合宿地も定かでなく資金面も苦しかった時、本庄市の市民有志が練習会場まで送迎したり、食事をつくったりしてくれたため、本庄市へ恩返しをしたいということで、応募したところ当選したそうです。</p> <p>先日、オリパラに向けた県の総会があり、知事を始め、県議会議長、県内各種団体等150人ほどが集まる中、聖火ランナーの代表者スピーチがありました。そこに、岩田さんが出たのですが、スピーチの中に本庄市という言葉が5回ほど出てきて、非常に有難かったです。彼は、弱視というハンディを抱えていますが、縁あって日本サッカー協会の職員となり、各地域での障害者スポーツや障害者サッカー等の普及のために仕事をしています。もともと、筑波大学の出身で、本庄とは縁がありませんでしたが、これも一つのオリンピック・パラリンピックへのレガシーになっていくのではないかと感じます。</p> <p>陸船車について、蛇足となりますが、今から12年ほど前に歴史民俗資料館の増田館長が、滋賀県彦根市の図書館にある古文書を調べ、改めて世に出したものです。古文書によると、彦根藩主の平石久平次という人物が、江戸時代に足漕ぎペダルで動く車のような陸船車をつくったとされていました。平石家に残っていた古文書も調べたところ、武州北堀村の門弥なる人物が陸船車というものをつくり、近々将軍に上覧されるようだという記述が発見され、これをもとにつくったのではないかと感じました。</p> <p>増田館長は調査を行うため、北堀の庄田家に出向いたところ、家系図が見つかりました。その家系図には、カラクリの人という記述があったそうです。自転車機能としては世界最古として、増田館長は12年前に学術論文を発表しました。当時、私も一生懸命PRしましたが、鳴かず飛ばずであったところ、県が注目してくれ、再び世界に発信していこうとなりましたので、この度聖火リ</p>

	<p>レーで陸船車がお目見えすることとなりました。</p> <p>なお、陸船車は、12年前増田館長の論文に刺激を受けた市民有志が復元を行い、現在煉瓦倉庫に展示してあります。復元に携わった中心人物が、現在上里町で職員をしている新井さんという方です。新井さんは、陸船車の復元者として、オリンピック・パラリンピックの聖火ランナーに応募したところ当選したそうです。陸船車が再び世に出る、おもしろいきっかけとなると思いますので、これからが楽しみです。</p> <p>それでは、どなたかご質問等ございますか。</p>
落合委員	<p>確認ですが、トルコの選手団は本庄には来ないということでしょうか。ここをはっきりしておかないと、どのようにプログラムし展開していくか、子どもたちをどのように巻き込むかといった重要な点に繋がります。今まで、来るだろうということで事前展開を行ってきましたが、来ないとなった場合、それに代わる新たなプログラムを見出していないといけません。</p>
市長	<p>これについては私から回答します。実は、明日の議会全員協議会で発表する内容が含まれておりますので、明日までは取扱注意としていただきたいと思います。</p> <p>ブラインドサッカーは、残念ながら来られなくなってしまいました。しかし、ホストタウンであることは変わりませんので、ホストタウンとして事業を行ってまいりました。一方、他の競技で、本庄で合宿を行ってもいいというトルコのチームがあればぜひ引き受けたいという書簡を、トルコの青年スポーツ大臣に送りました。そうしましたら、つい先日、パラテコンドーの選手を本庄で合宿させるのはいかがでしょうかと打診がきました。これを受けない理由はありません。これもご縁ですので、パラスポーツの合宿を本庄市でもらえれば、トルコとの交流を繋げる大きなきっかけとなります。</p> <p>ブラインドサッカーについても、これで終わりというわけではなく、来年再来年に東京で大会が行われる時にも、本庄で合宿をしてもらえるような関係をつくっています。パラテコンドーについては、先日情報が来たばかりなので、内容が詳細ではありませんが、3月には具体化すると思いますので、しっかり受け止めたいと思っています。パラスポーツの合宿という点については、引き続き受け入れていき、トルコとの繋がりをより一層深めていきたいと考えている状況のため、ご理解を賜りたいと思います。</p> <p>先ほど話をした岩田さんですが、去年10月か11月頃にロービジョンフットサルの世界大会がトルコで行われたため、彼らのチームもトルコへ向かいました。そこで、トルコ視覚障害者スポーツ協会のブラインドサッカーチームと本庄市との架け橋になっている人物と会ったそうです。色々なところで、新たにできる関係も、レガシーの一つとなっていくと感じています。岩田さん曰く「ブラインドサッカーとロービジョンフットサルの両方に、力</p>

	<p>を入れている市は全国で本庄市だけだ」とのことです。岩田さんの夢は、世界のロービジョンフットサルの大会を、塙保己一杯として本庄で行うことだそうです。</p> <p>ブラインドサッカーとロービジョンフットサルとの繋がり、これからもずっと継続していきます。今回ご縁あって、パラテコンドーのチームに来ていただくことになりましたが、しっかり歓迎することで、新たな繋がりが始まると思っています。トルコとの繋がり、ホストタウンとして、しっかり保っていきたいと思っています。</p>
富沢委員	<p>提案ですが、聖火のイベントに、ぜひスポーツ少年団を使っただきたいです。スポーツ少年団は、昭和39年の東京オリンピックに向け、将来スポーツを形にできる子どもを育てようというのが、発足の理念でしたので、オリンピックとは切っても切れない団体です。スポーツ少年団として何らかの参加ができれば良いですが、学校の動きと分断してしまうことはよくありませんので、うまくミックスしてできればと思います。</p> <p>子どもたちが、色とりどりのユニフォームを着ている姿は、ビジュアルとしても非常に良いので、聖火がはにぼんプラザにある時、スポーツ少年団の子どもがたくさんいると良いと思います。</p> <p>我々団塊の世代は、2度目のオリンピックなので、盛り上がっています。子どもたちも盛り上がっているかということ、そこまではないと思います。スポーツ少年団を巻き込んで取り組んでいただければと思います。</p>
市長	今の提案について、何かありますか。
オリンピック・パラリンピック支援室長	スポーツ少年団については、こちら何かできれば良いと考えています。
落合委員	<p>本庄と児玉の場合、塙保己一先生からの流れがありますし、サッカーは1964年から1968年にかけて火が付き50年ほど経ちました。視覚障害の方との共生と、地場スポーツであるサッカーを、どのように捉えていくかある程度位置づけし、関連性をもってプログラム立てを行えば、市民の皆様もオリンピックへの対応を認識できると思います。</p> <p>また、パラリンピックは、共生社会をつくるためのスイッチとする良い機会だと思っています。障害者との共生は、すなわち全ての人との共生に繋がります。塙保己一先生の歴史的な業績と、それを捉えてきた渋沢栄一先生の思いからなる共生といった風土が、本庄・児玉にあるということを大きくアピールする機会となると思います。</p>
市長	<p>おっしゃる通りだと思います。それが、レガシーというものだと思いますので、落合委員がおっしゃったような形で、繋げていければと思っています。</p> <p>ブラインドサッカーのチームは、本庄に来られなくなりました</p>

	が、すでに繋がりはできているので、今後にも活かしていけると 思っています。
落合委員	ブラインドサッカーのチームは来られませんが、ブラインドサ ッカーという文化が本庄に少し根付いたということですよ。ブ ラインドサッカーとは何なのかを知り、それを観る機会が子ども たちにあると良いと思います。また、ブラインドサッカーを子ど もたちに体験させてみることで、視覚障害の大変さがわかります し、塙保己一先生の偉業も再認識できます。
市長	ブラインドサッカー東日本リーグの一部の試合を、本庄に誘致 し、かれこれ2年ほど行っています。試合の傍らで、ブラインド サッカー体験コーナーを設置し、子どもたちに体験をしてもらっ ています。スポーツ少年団のサッカー関係の子どもたちには、た くさん参加していただいています。 他には、ブラインドサッカーチームの皆さんに、直接学校へ行 っていただき、交流を図ったりもしています。広くブラインドサ ッカーというものに、市として関わっていくことも大事だと思っ ています。
オリンピック・ パラリンピック 支援室長	今、市長からブラインドサッカーのお話をいただきましたが、 今年5月17日の日曜日に若泉運動公園で、ブラインドサッカー の大会を誘致したので、実施する予定です。今年はパラリンピッ クの年となりますので、代表選手は抜けてしまいますが、6チ ームほどが本庄で大会を行うことになっています。その中で、また 体験教室等を行っていく予定です。
落合委員	ふと思いました、こういったイベントに青年のチームも入れ、 体感させることはどうでしょうか。我々が知っているサッカーと ブラインドサッカーの違いを、実際にサッカーをしている人に知 ってもらうことで、子どもたちへも良い方向に繋がってくると思 います。ブラインドサッカーから得た技術や作戦等を、一般のサ ッカーにも活かさせますし、社会教育的にも良く、面白かったと思 ってもらうことで共生にも繋がると思います。 5月17日、一般社会人や選抜チームでも構いません。ぜひ行 ってもらえたら良いと思います。
市長	ロービジョンフットサルの日本代表が、市民体育館等で合宿を 行った際、ロービジョンの方と晴眼者の方との試合を行いました。 本庄高校や早稲田大学本庄高等学院のサッカー部に来てもらい、 試合をしてもらいましたが、両校の生徒とも感動していました。 一方、ブラインドサッカーは全盲のため、晴眼者との試合はな かなか難しいかもしれません。そのため、ブラインドサッカーは 見て体験してもらい、ロービジョンフットサルの方を、地域の大人の方と練習試合等を行ってもらい、聞きながら 思いました。
落合委員	お父さんお母さんたちに関わってもらい、子どもとの共通

	<p>の話題になるので良いと思います。</p>
市長	<p>ブラインドサッカーとロービジョンフットサルの両方に、本庄市はどんどん関わっていくべきだと思います。繋がりや歴史的背景もあり、共生社会づくりという面においても我々が学ぶ点は多くあります。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p>
今井委員	<p>オリンピック・パラリンピック大会に向けて、今までも練習を見学しているということですが、やはり実際に観るというのは、子どもや大人にとっても良いと思います。実は私も、アイスホッケーのパラリンピックを観たことがあります。パラでないように感じるほどの感動でした。そういった企画は考えているのでしょうか。これまでの話は、オリンピック・パラリンピックまでの取組でしたが、実際に開催された時、こういった形で皆さんに観てもらおう予定なのでしょうか。まだ先のことだと思いますが、パブリックビューイングや会場に行くなどの計画をしているのでしょうか。</p> <p>落合委員も言われていましたが、子ども向けの取組が多いので、大人や市民を巻き込んだ取組があれば盛り上がるのかなと思いました。身近で観戦して応援する機会があれば良いですね。</p>
オリンピック・パラリンピック支援室長	<p>今井委員からパブリックビューイングという話がありましたが、オリンピック・パラリンピックの期間中、市役所1階の市民ホールにテレビを設置し、NHKの競技中継を流しておくことを考えています。例えば、今後小学校とテコンドーの選手の交流があれば、子どもたちはその選手を覚えますので、市役所に皆で応援に行こうといった雰囲気づくりができると思います。</p> <p>また、オリンピック・パラリンピックを目指している本庄市ゆかりのアスリートもいるので、そういった選手の応援もできれば良いと思っています。</p>
今井委員	<p>それはとても良いことだと思います。私もパブリックビューイングをやる側を経験していますが、準備が大変かもしれませんね。</p>
オリンピック・パラリンピック支援室長	<p>大人の参加については、東日本リーグの体験教室を行う際、子どもが体験する中で一緒にお父さんお母さんも体験してもらうのが良いと感じました。</p>
今井委員	<p>子どもたちは、トルコという国に親近感を持っていると思いますので、他の競技であってもトルコを応援したいという気持ちはあると思います。</p>
市長	<p>東京でオリンピック・パラリンピックを応援できるトルコ人は少ないかと思います。私たちが代わりにトルコチームを応援してあげるくらいの気持ちで行くのが良いと思います。ラグビーワールドカップ熊谷会場では、子どもたちが各国の国歌を歌ったところ、とても喜んでくれたようなので、そういった取組も良いと思います。</p>



	首都圏でトルコチームのキャンプ地を行っているところは、あまりないと思います。そういった点からも、応援の程度は限られてしまいますが、私たちがトルコチームを応援してあげないといけないと思います。
今井委員	そうすると、関係がまた強くなりますね。
市長	その通りです。昨年、トルコ共和国の建国記念日に大使館へ、私と議長がお招きいただき、そこで、大使から感謝状をもらっています。そういったこともありましたので、しっかりと応援していきたいと思っています。
岡崎委員	<p>去年、若泉運動公園で行われていたロービジョンフットサルの大会を観に行きましたが、百聞は一見に如かずではありませんが、やはり迫力がすごいですね。私の子どもがサッカーをやっているのので参加しましたが、会場にもう少し人がいてもいいのかなと思ったので、こういった機会があることをどんどんアピールしてほしいと思います。やはり、参加や対面することによって、普段当たり前のようにしていることが、どれだけ有難いことなのか、子どもたちも改めて感じられると思いますので、ぜひ続けてほしいと思います。</p> <p>トルコというと、非常に遠い国というイメージがありますが、エルトゥールル号が和歌山沖で難波したのを島民が一生懸命介抱したという話があります。歴史的な部分もどこかで伝えていく場面があれば、さらに絆が深まると思いました。</p>
市長	エルトゥールル号の話は、教科書に載っていましたよね。
教育長	道徳の教科書に載っています。中学校と小学校の両方に載っているの、子どもたちは2回勉強します。
市長	今の子どもにとっては、馴染み深い話なのですね。
落合委員	トルコは、アジアやヨーロッパの文化が交わったところというところなので、ぜひ行ってみたい場所の一つです。
市長	<p>私はイスタンブールでなく、覚書締結の調印のためアンカラへ行きましたが、非常に良いところでした。</p> <p>トルコで感動したことがありました。街を歩いていたら、私をじっと見ているおじさんがいました。言葉は忘れてしまいましたが、「日本人か？」と聞かれたので「そうだ」と答えたところ、手を伸ばされ握手を求められました。すごく親近感をもってくれていて、有難いなと感じました。</p>
落合委員	サッカーワールドカップ時のトルコも、他の国と比べて対応が違いましたね。文化的な交流を行いながら、日本に対するアプローチを行っていました。
市長	そうですね。オリンピック・パラリンピックの候補地でも、イスタンブールと東京が競っていましたが、東京に負けた時、東京では仕方がないと言ってくれたというエピソードがあったそうです。

	<p>実は、『海難1890』という、エルトゥール号の映画があります。観た人は素晴らしいと言っており、皆で観た方が良いとの話になりましたので、そういった機会を設けるのも良いのではないかと思います。</p> <p>7月9日の聖火リレー時の子どもの参加については、議論があるところでございます。お金がふんだんにあれば、遠い学校からでも全校児童・生徒がバスで来られるようにしたいですが、難しいところです。そのため、1校あたり1学年程度のバスであれば用意ができる予算を考えているところです。</p> <p>内部で打ち合わせを行った際に、聖火リレーの日を休校にしてしまうという話もありました。しかし、そうすると来られる子と来られない子が出てしまうので、授業の一環として6年生の児童に学校を代表して来てもらうことを検討しています。</p> <p>先ほど富沢先生からスポーツ少年団の話も出ましたが、もし学年が限定された場合、スポーツ少年団の子を特別扱いできるかどうかも含めて柔軟に考えていきたいと思えます。</p>
落合委員	<p>東京オリンピックの時、私は小学2年生でしたが、カラーテレビが各小学校に文科省から支給されました。その頃からすでに、NHKがオリンピック放送を行っていましたので、学年別に視聴覚室で見っていました。今回、聖火ランナーを直接観に行けない子どもたちのために、本庄ケーブルテレビなどと連携し、学校の画面で見せてあげると良いと思えます。現場に行ける子も画面で観る子も、同じ時間を共有し、本庄を聖火が通ったことを、焼き付けるようなプログラムを組めると良いですね。子どもたちが大人になった時、全員が思い出を共有できるような方法となれば良いと思えます。</p>
市長	<p>非常に有難い意見です。行けない子どもたちも、時間を共有することは大事なことです。教育長、ぜひこれは取り入れてほしいですね。</p>
教育長	<p>そうですね。ただ、学校はケーブルテレビに入っていないので、検討しないとイケないです。</p>
市長	<p>今はインターネットの時代なので、実況を動画で流すこともできますね。</p>
オリンピック・パラリンピック支援室長	<p>NHKが、ライブストリーミングをインターネットでやるようです。</p>
市長	<p>そうなのですね。それなら、体育館のプロジェクターに映して観るのも良いですね。</p>
富沢委員	<p>7月9日を映してくれるのは、ケーブルテレビになってしまうのでしょうか。</p>
岡崎委員	<p>その日も、NHKが流してくれるのですか。</p>
オリンピック・パラリンピック	<p>NHKが、7月9日も含めて、インターネットでずっと映像を流</p>

支援室長	してくれます。はにぽんプラザを出発すると、その場にいる人からはすぐに聖火ランナーは見えなくなってしまいます。そのため、その後どうなるか、画面を置いてインターネットの映像で観る予定です。
市長	NHKが全行程をずっと映してくれているのですね。落合委員の提案のように、行けない子にも授業の一環で見てもらうのが良いと思います。いい解決策が出ました。 他にはどうでしょうか。
教育委員会 事務局長	市の事業として、小中学生を対象に、実際に会場へ行きサッカーとバスケットボールを観戦してもらうことを予定しています。サッカーは中学生100人、バスケットボールは小学生100人と中学生100人の計200人となっています。各学校で抽選となってしまうのですが、生の試合を見てもらうために予定しています。
市長	抽選は仕方ないと思います。 他に意見等ありますか。 無ければ、本日の議題につきましては、以上とさせていただきます。進行を事務局へお返しします。 議事進行へのご協力、誠にありがとうございました。
事務局 (企画課長)	皆様には、慎重審議大変ありがとうございました。 その他といたしまして、今年度のスケジュールについて事務局よりご説明いたします。
事務局 (企画課長補佐)	ご説明いたします。今年度の総合教育会議の開催は、本日の第3回が最後となります。来年度の総合教育会議につきましては、今年度と同様に年3回程度の開催を予定しています。令和2年度第1回会議は、6月頃の開催を予定していますので、来年度も引き続きよろしくお願いたします。 その他については以上でございます。
事務局(企画 課長)	最後となりますが、富沢 教育長職務代理者におかれましては、本日が最後の総合教育会議となります。この会議が始まりました平成27年度より、多大なるご尽力をいただいて参りました。この場を借りまして、心より御礼申し上げます。 それでは、以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。

市 長

吉田 信解

教 育 長

勝山 勉